

大阪精神医療センター 《基本情報》

基本情報	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	収集期間	定義	備考
【入 院】							
稼働病床数	473	473	473	床	4月時点		実際に使用している入院ベッドの数です。
延べ入院患者数	145,825	148,634	146,917	人	年度	毎日24時現在在院している患者数+当日退院患者数	1年間に入院した延べの入院患者数です。
1日平均入院患者数	400	406	403	人	年度	延べ入院患者数/365	
新入院患者数	826	910	890	人	年度	期間中の新規入院患者数	1年間に新規に入院した患者さんの数です。
退院患者数	827	911	900	人	年度	期間中の退院患者数	1年間に退院した患者さんの数です。
年齢階層別退院患者数(※1)	別紙1参照	別紙1参照	別紙1参照		年度	※退院時点の年令で集計	退院患者さんの年齢の特徴を示します。
主要疾患別患者数(※2)	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照		年度	※原則としてICD3桁分類の上位20疾患とする	どのような病気を扱うかを示します。
疾病分類別患者数(※3)	別紙3参照	別紙3参照	別紙3参照		年度		
病床利用率	84.5	85.9	85.1	%	年度		入院病床が平均してどのくらい利用されているかという数字です。
平均在院日数	175.4	162.2	163.1	日	年度	$(延べ入院患者数 - 退院患者数) / (新入院患者数 + 退院患者数) \div 2$	急性疾患を取り扱うか、慢性疾患を取り扱うのか、病院の特徴を示す数字です。
病床回転率	1.8	1.9	1.9	回	年度	$(病床利用率 / 100) \times 稼働日数 / 平均在院日数$	空きベッドの数も考慮して計算された、入院ベッドの利用効率を示します。急性疾患あるいは慢性疾患という特徴を示します。
入院外来比率	43.8	44.9	46.8	%	年度	延べ外来患者数/延べ入院患者数 $\times 100$	入院治療を中心とする病院か、外来を中心とするか、という指標です。
退院患者中の褥瘡(d2以上)の院内発生率	0.007	0.0007	0	%	年度	褥瘡対策に関する治療計画(院内発生)にてDESIGN評価票にてd2以上の褥瘡を有する患者/延べ入院患者数 $\times 100$	医療機関で褥瘡対策が行われており、日常生活の自立度の低い入院患者に一律に褥瘡に関する危険因子の評価が実施されていることを表します。
退院計画立案率	90.6	96.6	96.8	%	年度	退院計画立案件数/年間退院患者数(死亡患者を除く) $\times 100$	
退院サマリー完成率	92.5	96.4	98.3	%	年度	担当医が2週間以内にサマリーを記載した件数/年間退院患者数 $\times 100$	一定期間内に退院サマリーを作成することは、病院の医療の質を示す数字です。
【外 来】							
新外来患者数	1,732	1,988	1,875	人	年度	初診料を算定した外来患者数+他科の初診患者数(入院中の外来初診を含む)	1年間に新規に外来治療を行った患者さんの数です。
延べ外来患者数	63,852	66,791	68,805	人	年度		1年間に外来治療を行った延べの外来患者さんの数です。
平均通院回数	36.9	33.6	36.7	回	年度	延べ外来患者数/新外来患者数	
1日平均外来患者数	261.7	274.9	283.1	人	年度	延べ患者数/診療日数	
紹介率	60.7	56.3	53.8	%	年度		外来患者さんのうち、紹介されてこられる方の割合です。普段のかかりつけというような一次医療が中心か、専門的な病院か、という指標になります。
逆紹介率	46.3	54.4	40.8	%	年度		この病院から他病院等への紹介の割合です。
救急車搬送患者数	440	438	404	人	年度	・救急車で搬送された全ての患者で再診患者、外泊患者等を含む。 ・医療機関に所属する救急自動車(ドクターカー:自院、他院を含む)で搬送された患者も含む。	救急用自動車で搬送されてきた1年間の患者さんの数です。
初診予約率	27.4	31.8	31.5	%	年度	(児童思春期外来のみ予約) (患者のうち)予約があった初診患者数/初診患者数 $\times 100$	外来の予約制がどの程度浸透しているかを示す指標です。

大阪精神医療センター 《基本情報》

基本情報	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	収集期間	定義	備考
【死亡患者】							
死亡退院数	5	4	4	人	年度		この病院での1年間の死亡の数です。
粗死亡率	0.60	0.44	0.44	%	年度	死亡患者数／退院患者数×100	この病院に入院した患者さんの死亡の割合です。高度な医療を提供する病院では重症の患者さんを取り扱うことも多いので、この数字は高くなります。
精死亡率	0.60	0.44	0.44	%	年度	(全死亡患者数－入院後48時間以内死亡)／退院患者数×100	入院して48時間以内の死亡は、病院内での診療を反映しないことが多いので、この死亡を除いた上での死亡率です。しかしながら、上記と同様に、高度な医療を提供する病院では重症の患者さんが増え、死亡率が高くなる傾向もあるため、必ずしも病院の診療レベルは反映しません。
【医療安全】							
医療事故発生件数	30	19	19	件	年度	公表基準による医療事故(レベル3b以上)の年間件数 レベル3b: 濃厚な処置や治療を要した事例 レベル4: 患者に永続的な障害が残った事例 レベル5: 死亡(原疾患の自然経過によるものを除く。)	医療事故をしっかりと把握し、その年間での件数を示します。
入院患者の転倒・転落率	0.13	0.13	0.15	%	年度	期間中に発生した転倒・転落件数/入院患者延べ数×100	

大阪精神医療センター 《基本情報》

基本情報	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	収集期間	定義	備考
【その他】							
研修医受入れ人数	2.0	2.3	2.3	人	年度	各月1日における人数の平均 <協力型臨床研修病院>	病院として、医師の教育に積極的に取り組んでいるかを示します。
レジデント受け入れ人数	4	8	10	人	4月現在	4月1日における人数	
指導医数	23	23	23	人	4月現在	※指導医は、臨床研修病院の基準にあるように、7年以上の臨床経験を有するものであって、プライマリケアを中心とした指導を行うことができる経験及び能力を有している者(H27. 4月現在届出数)	
医療相談件数	10,913	9,626	8,815	件	年度	医療相談室等で受けた相談件数(医療相談の専任者が実施する場合を含む)	社会財政面での患者さんの支援の体制を示しています。
医療相談件数のうち医療ソーシャルワーカーが受けた件数	10,913	9,626	8,815	件	年度		
患者対看護職員数	15対1	15対1	15対1		年度	看護体制(精神病棟)	看護体制の充実度を示します。
専門看護師数	2	1	1	人	4月現在	日本看護協会が定める専門看護師の有資格者数 4月1日における人数	
認定実務実習指導薬剤師	1	2	1	人	4月現在	日本薬剤師研修センターが定める実務実習指導薬剤師の有資格者数	
精神科薬物療法認定薬剤師	2	0	0	人	4月現在	日本病院薬剤師会が定める精神科薬物療法認定薬剤師の有資格者数	精神疾患患者の治療と社会復帰に貢献することを理念として、薬物療法を安全かつ適切に行うことを目的としています。
精神科専門薬剤師	0	1	1	人	4月現在	日本病院薬剤師会が定める精神科専門薬剤師の有資格者数	精神科薬物療法に関する高度な知識と技術により、精神疾患患者の治療と社会復帰に貢献することを理念とし、精神疾患に対する薬物療法を安全且つ適切に行うことを目的としています。
院外処方箋率	96.1	96.4	96.6	%	年度	院外処方箋枚数/外来処方箋枚数×100	医薬分業に積極的に取り組んでいるかを示しますが、まれな疾患にしか使わない薬を多く処方される病院もあります。
診療情報の開示件数	13	15	15	件	年度	年間の総開示件数	患者さんからの診療情報請求に応じて開示した数です。
治験実施件数	4	6	7	件	年度	新規契約件数+前年度からの継続契約件数	
クリニカルパス種類数	5	5	5	種	年度	ECTパス・身体拘束パス・隔離パス・休息回復期パス・退院促進パス	これまでの統合失調症パスから病名に関係なく目的に応じて使用できるパスを作成し実施しています。
CT撮影件数	1,368	1,183	1,417	件	年度		
病院職員のインフルエンザワクチン接種率	74.7	74.2	79.2	%	年度	当センターでのインフルエンザワクチン予防接種者数/職員数(4月時点)×100	
職員の健診受診率	98.1	99.8	99.8	%	年度	事業所健診の受診者数/健診対象者職員数(4月時点)×100	

※1 年齢階層別退院患者数

(H28年度)

大阪精神医療センター

年齢階層	退院患者数	(うち死亡患者数)
28日未満	0	0
1歳未満	0	0
10歳未満	14	0
20歳未満	143	0
30歳未満	99	1
40歳未満	141	0
50歳未満	186	0
60歳未満	123	1
70歳未満	112	0
80歳未満	57	1
80歳以上	25	1

※期間中の退院患者

※年齢は退院時年齢による

※2 主要疾患別患者数

(H28年度)

大阪精神医療センター

病 名	
F0 症状性を含む器質性精神障害	28
F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	77
F2 統合失調症、統合失調症型障害および妄想障害	416
F3 内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)	135
F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	91
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	12
F6 成人のパーソナリティおよび行動の障害	14
F7 精神遅滞(知的障害)	13
F8 心理的発達の障害	90
F9 小児期および青年期に通常発症する行動及び情緒の障害、特定不能の精神障害	23
G4 てんかん	1
合計	900

※3 疾病分類別患者数

(H28年度)

大阪精神医療センター

	分 類	患 者 数	平 均 在 院 日 数
I	感染症及び寄生虫症(A00-B99)		
II	新生物(C00-D48)		
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障がい(D50-D89)		
IV	内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)		
V	精神および行動の障害(F00-F99)	899	164.3
VI	神経系の疾患(G00-G99)	1	1
VII	眼および付属器の疾患(H00-H59)		
VIII	耳および乳様突起の疾患(H60-H95)		
IX	循環系の疾患(I00-I99)		
X	呼吸系の疾患(K00-K93)		
X I	消化系の疾患(K00-K93)		
X II	皮膚および皮下組織の疾患(L00-L99)		
X III	筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99)		
X IV	尿路生殖系の疾患(N00-N99)		
X V	妊娠、分娩および産褥(O00-O99)		
X VI	周産期に発生した主要病態(P00-P96)		
X VII	先天奇形、変形、および染色体異常(Q00-Q99)		
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見(R00-R99)		
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響(S00-T98)		
X X	傷病および死亡の外因(V01-Y98)		
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用(Z00-Z99)		